

大塚製薬が贈る特別講座 「創造性の実践」

大塚製薬株式会社 横浜支店
ニュートラシューティカルズ事業部

目次

- プログラム内容
- 2017年度事例
(神奈川県立麻生総合高等学校様)

プログラム内容

プログラム内容

目的

社会で役立つスキル習得と
キャリアプラン選択肢の拡大

テーマ

大塚製薬の【創造性】の実践

スタイル

出張授業形式

キーワード

■マーケティング ■ アクティブラーニング ■ ITリテラシー
■ 情報リテラシー ■ プレゼンテーション ■ グループワーク

ゴール

【創造性】の大切さを伝える“気づき”

大塚製薬の挑戦状

神奈川県が抱える健康課題を解決できる

●●を考えて下さい

※●●とは、例えばモノやサービスなど

①課題解決の際のヒントとして、大塚製薬の創造性を見よう



②まずはみんなで健康課題について調査してみよう



③グループで話し合っ、健康課題をアイデアで解決してみよう

2017年度事例

県立麻生総合高等学校様

授業内容の詳細

【1時間目】

大塚社員による講義

「大塚製薬の創造性について」

- ・カロリーメイトの開発秘話
- ・朝食の重要性
- ・神奈川県健康課題
- ・大塚社員の理念（創造性、常識を疑え）

【2-3時間目】

グループディスカッション

神奈川県の健康課題を解決する〇〇を考える

- ・睡眠時間が短い
- ・朝食欠食
- ・30分以上運動している人が少ない
- ・職場の健康管理



【4時間目】結果発表



結果発表

【1班】

課題:睡眠時間が短い

原因:スマホ・通勤時間が長い

対策:・スマホから眠たくなる光を出す

- ・時間の表示を強調させる
- ・スマホに健康アプリを内蔵
- ・電車での通勤だけではなく
タクシーの定期券を作り、
通勤時間の短縮を図る
→タクシー内でも寝れる
- ・勤務地付近に寮をつくる

【2班】

課題:朝食欠食

原因:10~30代が欠食しているのでは？

対策:・各年代に向けたスマホアプリの開発

各年代に人気のアプリは…

10代はスタバのアプリ

20代はカロリー計算のアプリ

30代は歩数計クーポンのアプリ

・そのアプリと連動して自分の分身が
アプリ内で太ったり痩せたりする

【3班】

課題:睡眠時間が短い

原因:通勤時間が長い

寝付けない

→寝付けない理由

スマホの使い過ぎ・運動不足

対策:スマホを一定の時間を超えて

使用することができなくする

機能を開発する

(非常時には使用できる)



授業実施後の反応

生徒の反応

- ・大塚製薬の講義がユニークで面白かった
- ・自分で考えて発表したのは良い経験になった
- ・同じ高校生でも様々な意見があり驚いた
- ・今まで全然話したことない人と話すきっかけになった
- ・創造性という発想が勉強になった
- ・「なぜ」を繰り返し考えて問題を根元まで考えていく発想も勉強になった

先生方の反応

- ・私自身も勉強になった
- ・企業だからこそ教えられる内容だった
- ・最初はできるか不安だったが、生徒の成長した姿を見られた
- ・来年度も是非授業を行って欲しい
- ・初めての取り組みではあったが協力して頂き、ありがとうございます

大塚製薬にとって

- ・高校生の声を聴き、消費者の視点を知る事ができた
- ・創造性や常識を疑え、などの大塚製薬が持つ考えを理解して頂けた
- ・大塚製薬の考えを通して、製品が持つ価値を高校生に伝えることができた

お申込み・お問い合わせ先

神奈川県教育委員会教育局指導部
高校教育課高校教育企画室
高校教育企画グループ

〒231-8509 横浜市中区日本大通33

TEL (045)210-8254

FAX (045)210-8922